

手賀沼親子自然観察会

日時: 2013年9月29日(日) 10:00~12:00

一般参加は68名、スタッフは13名、合計81名

場所: 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと

鈴木代表から本日の予定、柴田佳秀さんの話(手賀沼の魚について)

モンドリ仕掛け、タモ網で魚採り

釣りのやり方について説明(柴田佳秀さん)を聴き、釣りで魚採り

左村さんの話『手賀沼周辺で見られる草花』

モンドリ引き揚げ、魚の分類、まとめ



柴田講師による判りやすい「釣りの基本」のレクチャー



24組の親子が参加しました



「種の見分け方」
「国内外来種・国外外来種はなぜ手賀沼にいるのかな」

【観察された水生生物】

在来種：モツゴ、メダカ、ギンブナ、コイ、ドジョウ、スジエビ
ヤゴ(ヤンマ科、トンボ科アカネ属・シオカラトンボ属、イトトンボ科)、
ミズカマキリ、アメンボ、ケシカタビロアメンボ、ゴマフガムシ、セマルガムシ、コガシラミズムシ、
トウキョウダルガガエル、アマガエル

国内外来種：モロコ、ツチフキ 国外外来種:カダヤシ(この水路では初確認)、
タイリクバラタナゴ、カムルチー、タウナギ、シナヌマエビ、
アメリカザリガニ

参加者や実施団体の

感想 外来種「ブラックバス、ブルーギルの幼魚」は昨年に続き採れなかった。しかし、タウナギの幼体は昨年に続き採れ、
さらに、この用水路で初めてカダヤシを確認した。今後の増殖が懸念される。トンボのヤゴはたくさん採れた。

